

京都大学生態学研究センター
業績目録

Publication List

Center for Ecological Research, Kyoto University

第2巻 (1992年)

1993 (平成5) 年4月

Volume 2 (1992)

April, 1993

京都大学

生態学研究センター・ニュース No. 14

京大大学生態学研究センター

〒520-01 滋賀県大津市

下阪本 4-1-23

Tel: (0775) 78-0580

Fax: (0775) 79-8457

センター長 川那部浩哉

Center for Ecological Research

Kyoto University

Shimosakamoto, Otsu,

Shiga, 520-01, Japan

はじめに

京大大学生態学研究センター業績目録第2巻をお届けします。本巻では1992年に出版された業績を中心にまとめました。また、本年度から協力研究員の方々の業績も入れました。

昨年5月に出版しました「京大大学生態学研究センター業績目録第1巻」はいろいろな反響をよんだようです。具体的にはあとがきでふれられていますが、業績をどのように評価するかについて、きわめて多様な意見が研究者の間にも、また研究を支えている人々の間にも存在することが、いろいろな人々のご意見をうかがう過程で実感できました。しかし、第1巻のまえがきにも書きましたように、この業績目録を出版するにあたっては、業績なるものの範囲は一切限定せず、また、評価にあたるようなことは一切しませんでした。業績評価をめぐる議論の基礎資料を提供することを、本目録はむしろめざしています。

本第2巻を編集するにあたり、ご協力いただいた協力研究員をはじめとする方々に、心から感謝いたします。また、第1巻にもまして、一層のご意見、ご批判を賜わるようお願いいたします。

生態学研究センター長 川那部浩哉

収録内容と凡例

1. 業績目録第2巻には生態学研究センターの構成員（常勤スタッフ，大学院生および研修員）および協力研究員が，1992（平成4）年（「年度」ではない）に発表した業績を収録します。印刷中のものも，発表年が1992年以降になるものは収録しません。1992年以降に加わった新構成員については，1992年までの全業績を挙げます。また，第1巻の遺漏についても，遡って収録しています。
2. 配列は，(A) スタッフ，(B) 大学院生および研修員，(C) 協力研究員のそれぞれについて，名前のアルファベット順です。(A)，(B) については，各人ごとに昨年（センター・ニュース No. 7）に引きつづいて発表年代順のナンバーをふってあります。協力研究員については，各巻ごとに1) からはじまるナンバーをふりました。業績の種別（原著論文，総説，解説記事，報告書など）については区別しません。
3. 協力研究員の業績については，業績目録に載せる・載せないは，各研究員の自由意志とし，「載せてもよい」と判断された方の，そして判断された業績だけを収録する形にしました。協力研究員活動は，現実にさまざまな側面におよび，センター活動の重要な柱となっています。また，一人ひとりの協力研究員活動の捉えかたも多様です。このような貴重な多面的協力体制を反映させるべく，業績目録につきましても自由な形での協力をおねがいしました。ただし，実際に生態学研究センターに滞在し，設備などを活用してあげられた業績については，できるだけ収録したい旨，依頼しました。
4. 第1巻同様，印刷の形式は欧文・和文にかかわらず以下の3通りとしました：
 - (a) 定期刊行学術誌掲載の論文など
カバ -) 著者名{; 著者名; ...} (刊行年) 論文タイトル. 定期刊行物名 巻: 始ページ - 終ページ.
[キーワード]
 - (b) 単行本（含翻訳）など
カバ -) 著者名{; 著者名; ...} (刊行年) 著書タイトル. 総ページ pp. 出版社, 所在地. [キーワード]
 - (c) 単行本のなかに掲載の論文など
カバ -) 著者名{; 著者名; ...} (刊行年) 論文タイトル. In: 単行本名. (ed. by 編者名{; ...}) pp.
始ページ - 終ページ. 出版社, 所在地. [キーワード]

A. Staffs スタッフ

ABE, T.	安部琢哉	-----	5
FUJITA, N.	藤田 昇	-----	5
INOUE, T.	井上民二	-----	5
KAWANABE, H.	川那部浩哉	-----	6
KOHYAMA, T.	甲山隆司	-----	8
NAKANISHI, M.	中西正己	-----	9
NARITA, T.	成田哲也	-----	9
SHIMIZU, I.	清水 勇	-----	10
SUGIMOTO, A.	杉本敦子	-----	10
TABATA, H.	田端英雄	-----	10
TEZUKA, Y.	手塚泰彦	-----	10
WADA, E.	和田英太郎	-----	11
YUMA, M.	遊磨正秀	-----	12

B. Research Students and Fellows 大学院生・研修員

HARAGUCHI, A.	原口 昭	-----	13
KAMEDA, K.	亀田佳代子	-----	13
KATAYAMA, M.	片山雅男	-----	13
MAKITA, A.	蒔田明史	-----	13
MATSUBARA, T.	松原健司	-----	14
MATSUI, K.	松井 淳	-----	14
MIYAJIMA, T.	宮島利宏	-----	14
NAKANO, S.	中野伸一	-----	15
NOMA, N.	野間直彦	-----	15
SAKUMA, D.	佐久間大輔	-----	16
URANO, E.	浦野栄一郎	-----	16
YAMADA, Y.	山田佳裕	-----	18

C. Guest Scientists 協力研究員

AOKI, T.	青木豊明	-----	19
FUKAMI, K.	深見公雄	-----	19
HIGASHI, M.	東 正彦	-----	19
HINO, S.	日野修次	-----	20
INUBUSHI, K.	犬伏和之	-----	20
ISHIDA, Y.	石田祐三郎	-----	20
ITINO, T.	市野隆雄	-----	21
ITÔ, Y.	伊藤嘉昭	-----	22
IWASA, Y.	巖佐 庸	-----	22
KATO, K.	加藤憲二	-----	23
KONDO, T.	近藤高貴	-----	23
KOYAMA, N.	小山直樹	-----	23
MORI, T.	森 豊彦	-----	24
MORINO, H.	森野 浩	-----	24
OHGUSHI, T.	大串隆之	-----	25
ONOYAMA, K.	小野山敬一	-----	25
SUZUKI, K.	鈴木邦雄	-----	26
TADAKI, Y.	只木良也	-----	26
TAKAMURA, N.	高村典子	-----	27
TAKEMON, Y.	竹門康弘	-----	27
TANIDA, K.	谷田一三	-----	27
TSUDA, R.	津田良平	-----	28
UEDA, H.	上田 宏	-----	28
UEDA, K.	上田恵介	-----	28
WAKATSUKI, T.	若月利之	-----	29
WATANABE, N.	渡辺 直	-----	29
YAMAMOTO, S.	山本進一	-----	30
YAMAOKA, K.	山岡耕作	-----	30
YOSHIDA, N.	吉田尚弘	-----	30

A. Staffs スタッフ

ABE, Takuya 安部琢哉

- 92) Higashi, M.; Abe, T.; Burns, T. (1992) Carbon-nitrogen balance and termite ecology. *Pro. R. Soc. Lond. B.* 249: 303-308.
- 93) Yamane, S.; Abe, T.; Yukawa, J. (1992) Recolonization of the Krakataus by Hymenoptera and Isoptera (Insecta). *GeoJournal*, 28: 213-218.
- 94) 東正彦; 安部琢哉, 編 (1992) 地球共生系とは何か. 246 pp. 平凡社, 東京.
- 95) 安部琢哉; 東正彦 (1992) シロアリの発明した偉大なる「小さな共生系」. In: 地球共生系とは何か. (ed. by 東正彦; 安部琢哉). pp. 58-83. 平凡社, 東京.
- 96) 東正彦; 安部琢哉 (1992) 「大きな共生系」はいかに維持, 発展されるか. In: 地球共生系とは何か. (ed by 東正彦; 安部琢哉). pp. 124-150. 平凡社, 東京.
- 97) 安部琢哉 (1992) シロアリの結婚とその家族たち. In: のはなし (ed. by 梅谷献二). pp. 32-40. 技報堂出版, 東京.

FUJITA Noboru 藤田昇

- 72) 藤田昇 (1992) 深泥池の自然 (2) 変容に耐えて. 京都新聞 1992/1/20.
- 73) 藤田昇 (1992) 深泥池の自然 (9) ミズゴケ. 京都新聞 1992/3/9.
- 74) 藤田昇 (1992) 深泥池の自然 (30) ホシクサの仲間. 京都新聞 1992/8/31.

INOUE, Tamiji 井上民二

- 85) Inoue, T.; Kato, M. (1992) Inter- and intraspecific morphological variation in bumblebee species, and competition in flower utilization. In: Resource distribution and animal-plant interactions. (ed. by Hunter, M. D.; Ohgushi, T.; Price, P. W.) pp. 393-427. Academic Press, San Diego. [character displacement, competition, bumblebee, Apidae, morphology, coevolution]
- 86) 井上民二 (1992) 熱帯林をさまよう. 毎日新聞 (夕刊) 1992/1/25. [熱帯]
- 87) 井上民二 (1992) ダーウィンを越えた共進化とランナウエイ. In: 科学朝日 52: 12-16. [共進化,

地球共生系, 送紛共生系]

- 88) 井上民二 (1992) 共進化の理論モデル. In: 適応 (遺伝別冊 4 号) (ed. by 矢原徹一; 松本忠夫) pp. 88-101. 裳華房, 東京. [共進化, 送紛共生系]
- 89) 井上民二 (1992) ミツバチの採餌戦略. In: ミツバチのはなし. (ed. by 酒井哲夫) pp. 54-60. 技報堂出版, 東京. [ミツバチ, 採餌戦略]
- 90) 堀田満; 井上民二; 小山直樹 (1992) スマトラの自然と人々. 175 pp. 西村書店, 東京. [熱帯, 東南アジア, 自然史]
- 91) 井上民二 (1992) 花を訪れるハチ達の暮らし - ハリナシバチとミツバチ. In: スマトラの自然と人々. (ed. by 堀田満; 井上民二; 小山直樹). pp. 66-77. 西村書店, 東京. [スマトラ, 自然史, ハナバチ, ミツバチ, ハリナシバチ]
- 92) 井上民二 (1992) 熱帯における生物の多様性. In: 総合開発計画調査 アジア諸国における研究開発基盤形成に関する基礎調査 熱帯地域の生物多様性の保全と利用. (ed. by 財団法人バイオインダストリー協会). pp. 11-33. [熱帯, 多様性]
- 93) 井上民二 (1992) 中南米における熱帯研究の現状 - スミソニアン熱帯研究所の事例より. In: 総合開発計画調査 アジア諸国における研究開発基盤形成に関する基礎調査 熱帯地域の生物多様性の保全と利用. (ed. by 財団法人バイオインダストリー協会). pp. 146-150. [熱帯, 生物多様性]
- 94) 井上民二 (1992) 芦生原生林における花と訪花性昆虫の共生に関する生態学的研究. 日本生命財団平成 3 年度事業の概要. [送紛生態学, 共生, 花粉分析]
- 95) 井上民二 (1992) サラワクの森. 毎日新聞 (夕刊) 1992/4/4. [サラワク, 熱帯多様性]
- 96) Kato, M.; Roubik, D.W.; Inoue, T. (1992) Foraging behavior and concentration preference of male euglossine bees (Apidae: Hymenoptera). *Tropics*. 1: 259-264. [bee biology, foraging, Euglossini]
- 97) 井上民二 (1992) ウオレス線をこえて. 毎日新聞 (夕刊) 1992/6/20. [サラワク, 生物地理]
- 98) Itoika, K.; Inoue, T.; Ishida, N. (1992) A ten-year study of population dynamics of citrus pests in the pesticide-reduced orchard. *Res. Popul. Ecol.* 34: 227-247. [population dynamics, scale insects, pest control, long-term study]

KAWANABE, Hiroya 川那部浩哉 _____

- 448a) Kawanabe, H.; Harada, E. (1989) Obituary: Denzaburo Miyadi (1901-1988). *Zoological Science* 6: 619-621.
- 521) 川那部浩哉 (1991) 21世紀の地球環境シンポジウム: 動物生態学の立場から. 神奈川新聞 1991/11/18.

- 522) 稲葉稔; 川那部浩哉; 福嶋喜代三 (1992) 環境出直し元年へ, 守れ湖国の生態系. 京都新聞 1992/1/1.
- 523) 川那部浩哉 (1992) 1991年読書アンケート. みすず 370: 52.
- 524) 川那部浩哉 (1992) 「自然」の何を守るのか. 文芸春秋 70 (2): 206-213.
- 525) 川那部浩哉 (1992) 夢をかたちに 70: 地球の環境問題とは, 多様な生物の共存を考えることだ. 日本経済新聞 1992/2/2.
- 526) 川那部浩哉 (1992) 情報と専門職員と. 静修 (京都大学附属図書館報) 28 (4): 1-3.
- 527) 川那部浩哉; 秋山紀子; 田中豊穂; 原剛 (1992) 日本の川に未来はあるか? 自然保護 1992 (3): 15-19.
- 528) 川那部浩哉 (1992) 加茂川・鴨川の「復元」. In: ダムと和尚 (ed. by 田中真澄), pp. 159-161. 北斗出版, 東京.
- 529) 川那部浩哉 (1992) 共存の機構解明へ: 地球上の多様な生物種. 科学新聞 1992/4/10.
- 530) 川那部浩哉 (1992) 地球共生系と生態学: 京都大学生態学研究センター. 文部時報 1992 (3): 40-43.
- 531) 川那部浩哉 (1992) 自然の模型 (モデル). In: ガラスの中の大自然, 水草レイアウト作品集 (ed. by 天野尚), 2. マリン企画, 東京.
- 532) 川那部浩哉, 編 (1992) 長良川河口堰事業の問題点 第2次報告書. 73 pp. 日本自然保護協会, 東京.
- 533) 川那部浩哉 (1992) はじめに. In: 長良川河口堰事業の問題点 第2次報告書. pp. 5-6.
- 534) 川那部浩哉 (1992) 動物の資源量から見た漁撈. In: 狩猟と漁撈: 日本文化の源流をさぐる (ed. by 小山修造), pp. 80-99. 雄山閣, 東京.
- 535) 川那部浩哉 (1992) 水と魚と人間と. ひとりふたり・・・ 42: 16-17.
- 536) 川那部浩哉 (1992) "自然" eui mu od ji ki neum wod in ga. Japan Forum, 1992 (1): 150-159. (韓国・朝鮮語版)
- 537) 川那部浩哉 (1992) はじめに. 京都大学生態学研究センター・ニュース 7: 1-2.
- 538) 川那部浩哉 (1992) 第一回IGBP国際シンポジウム「環境変動と生物群集の多様性・弾力性」. 学術月報 45:94.
- 539) 川那部浩哉; 谷田一三; 竹門康弘; 平松和也; I. Silva; 中田兼介; 桑川泰一 (1992) 豊富な動物群集保全のために必要な河川環境要素の研究. 地球環境研究 20: 65-123.
- 540) Kawanabe, H. (1992) Cautionary notes for the environmental cause. Japan Echo 19 (2): 79-84.
- 541) Kawanabe, H.; Kwetuenda, M. K.; Gashagaza, M. M. (1992) Ecological and limnological studies of lake Tanganyika and its adjacent regions between African and Japanese scientists: An introduction. Mitteilungen der Internationale Vereinigung für theoretische und angewandte Limnologie 23: 79-83.

- 542) Kawanabe, H. (1992) Sustainable biosphere for the future of the earth. Earth Summit Times 1992/6/12.
- 543) 川那部浩哉 (1992) 守るべきは, 多様な自然: タンガニーカ湖に魚の生物多様性を問う(1). アニマ 1992 (7): 102-107.
- 544) 川那部浩哉 (1992) 守るべきは, 多様な自然: タンガニーカ湖に魚の生物多様性を問う(2). アニマ 1992 (8): 81-87.
- 545) 川那部浩哉 (1992) 川と魚と人間. 北海道経済, 1992 (8) : 1-8.
- 546) 川那部浩哉, 監修 (1992-93) シリーズ地球共生系. 全6巻. 平凡社, 東京.
- 547) 川那部浩哉 (1992) あとがき. In: シリーズ地球共生系 1 地球共生系とは何か (ed. by 東正彦; 安部琢哉). pp. 246-253. 平凡社, 東京.
- 548) Kawanabe, H. (1992) Notas de alerta sobre el medio ambiente. Cuadernos de Japon 5 (1): 65-69.
- 549) 米山俊直; 青木伸好; 池上甲一; 岩坪五郎; 海田能宏; 掛谷誠; 川上倫逸; 川那部浩哉; ほか (1992) 地域研究と地域科学の総合のために: 討論. 国際地域研究, 3: 22- 49.
- 550) 川那部浩哉; 代晃一 (1992) "地球" が危ない, 人間が環境を破壊. アイランド・トレンズ (ハワイ) 1992/9/4.
- 551) 川那部浩哉 (1992) 生物と環境の多様性. 環境科学総合研究所年報 11: 5-15.
- 552) 川那部浩哉 (1992) 今西錦司さんの生態的論理の世界. アニマ 92 (10): 34-35.
- 553) Kawanabe, H. (1992) La nature n'a que faire de nos bonnes intentions. Cahiers du Japon 53: 66-72.
- 554) Nakano, S.; Fausch, K.D.; Furukuwa-Tanaka, T.; Maekawa, K.; Kawanabe, H. (1992) Resource utilization by bull char and cutthroat trout in a mountain stream in Montana, U.S.A. Japanese Journal of Ichthyology 39: 211-217.
- 555) 大沢雅彦; 川那部浩哉 (1992) リオデジャネイロにおける環境と開発に関する国連会議 (UNCED) に並行して開催された生態学関連の行事に関する報告. 日本生態学会誌 42: 275-282.
- 556) 大島康行; 川那部浩哉 (1992) 国立アメリカ環境研究所群設立準備会議に出席して. 日本生態学会誌 42: 283-285.

KOHYAMA, Takashi 甲山隆司 _____

- 37) 甲山隆司 (1992) 動いているスマトラの森. In: スマトラの自然と人々. (ed. by 堀田満; 井上民二; 小山直樹). pp. 38-52. 八坂書房, 東京. [解説, 熱帯多雨林, スマトラ, 永久調査区, 森林動態]
- 38) Mukhtar, E.; Suzuki, E.; Kohyama, T.; Rahman, M. (1992) Regeneration process of a climax

species *Calophyllum* cf. *soulattri* in tropical rain forest of West Sumatra. *Tropics* 2: 1-12.

[*Calophyllum*, spatial distribution, population dynamics, tropical forest, Indonesia]

39) Kohyama, T. (1992) Size-structured multi-species model of rain forest trees. *Funct. Ecol.* 6: 206-212.

[coexistence, competition, cumulative basal area, equilibrium, simulation, size distribution, warm-temperate rain forest]

40) Kohyama, T. (1992) Density-size dynamics of trees simulated by a one-sided competition

multi-species model of rain forest stands. *Ann. Bot.* 70: 451-460. [competition, yield, density effect, mixed stand, population, self-thinning, simulation, size distribution, warm-temperate rain forest]

NAKANISHI, Masami 中西正己 _____

48) Nakanishi, M.; Tezuka, Y.; Narita, T.; Mitamura, O.; Kawabata, K.; Nakano, S. (1992)

Phytoplankton primary production and its fate in a pelagic area of Lake Biwa. *Arch. Hydrobiol. Beih. Ergebn. Limnol.* 35: 47-67.

49) Tsuda, R.; Nakanishi, M. (1992) Light utilization by phytoplankton in the north basin of Lake Biwa.

Arch. Hydrobiol. 125: 97-107.

50) 平山彰彦; 中西正己; 宮島利宏; 中野伸一; 熊谷道夫 (1992) 短期的水質モデルパラメータのキャリブレーション. *海岸工学論文集* 39: 976-980.

51) Nakanishi, M.; Miyajima, T.; Nakano, S.; Tezuka, Y. (1992) Studies on the occurrence of *Anabaena* and *Microcystis* blooms in Akanoi Bay of the south basin of Lake Biwa, with special attention to nutrient levels. *Ann. Rept. Interdiscipl. Res. Inst. Environ. Sci.* 11: 67-75.

NARITA, Tetsuya 成田哲也 _____

30) Nakanishi, M.; Tezuka, Y.; Narita, T.; Mitamura, O.; Kawabata, K.; Nakano, S. (1992)

Phytoplankton primary production and its fate in a pelagic area of Lake Biwa. *Arch. Hydrobiol. Beih. Ergebn. Limnol.* 35: 47-67.

SHIMIZU, Isamu 清水 勇

- 81) Shimizu I. (1992) Comparison of fatty acid composition in lipids of diapause and non-diapause eggs of *Bombyx mori* (Lepidoptera: Bombycidae). *Comp. Biochem. Physiol.* 102B: 713-716.
- 82) Shimizu I. (1992) Regulation of diapause hormone secretion in the silkworm, *Bombyx mori*: a try using laser microbeam treatment. *Zoological Science* 9: 1271.
- 83) Okada A.; Shimizu I. (1992) Photoperiodic response in *Drosophila melanogaster*: effect of vitamin A deficiency. *Zoological Science* 9: 1238.
- 84) Shimizu I; Hori S. (1992) Geo-orientation and photo-orientation of in cocoon construction. 19th International Congress of Entomology (Beijing) Abstract: 624
- 85) Shimizu I. (1992) Photoreception of circadian and photoperiodic induction in the silkworm, *Bombyx mori*: from a view point of carotenoid-requirement. International Symposium Connections between Genetics and Physiology in the study of Biological Clocks (Yamaguchi) Abstract: 24.

SUGIMOTO, Atsuko 杉本敦子

- 8) 杉本敦子; 和田英太郎 (1992) 生物圏における安定同位体分布と地球環境. *RADIOISOTOPES* 41: 366-376. [生物圏, ^{13}C , ^{15}N , 地球環境]
- 9) Wada, E.; Sugimoto, A.; Takai, Y. (1992) Greenhouse gas emission from wetland ecosystems with special reference to bubble methane. In: *Coastal Swamp Land in Southern Thailand and Malaysia* (ed. by Kyuma, K.; Vijarnsorn, P.; Zakaria, A.). pp. 405-416. Nodai Center International Programs, Tokyo Univ. of Agriculture. [CH_4 , paddy field, $\delta^{13}\text{C}$]

TABATA, Hideo 田端英雄

- 87) Tabata, H. (1992) The union of *Betula costata* Trautu. and *B. nikoensis* Koidz. *Acta Phytotax. Geobot.* 43: 125-134.

TEZUKA, Yasuhiko 手塚泰彦

- 92) Tezuka, Y. (1992) Recent trend in the eutrophication of the north basin of Lake Biwa. *Jpn. J.*

- Limnol. 53: 139-144. [recent trend, eutrophication, Lake Biwa, phosphorus sedimentation]
- 93) Nakanishi, M.; Tezuka, Y.; Narita, T.; Mitamura, O.; Kawabata, K.; Nakano, S. (1992)
Phytoplankton primary production and its fate in a pelagic area of Lake Biwa. Arch. Hydrobiol. Beih. Ergebn. Limnol. 35: 47-67. [phytoplankton, primary production, its fate, Lake Biwa]
- 94) Tezuka, Y. (1992) The C:N:P ratio of plankton and its significance for nutrient cycling in lakes. Proceed. 6th International Symposium on River and Lake Environment (Korea), pp. 164-173. [C:N:P ratio, plankton, nutrient cycling, lakes]
- 95) Nakanishi, M.; Miyajima, T.; Nakano, S.; Tezuka, Y. (1992) Studies on the occurrence of *Anabaena* and *Microcystis* blooms in Akanoi Bay of the south basin of Lake Biwa, with special attention to nutrient levels. Ann. Rept. Interdiscipl. Inst. Environ. Sci. 11: 67-75. [phosphorus, nitrogen, water blooms]

WADA, Eitaro 和田英太郎

- 139) Wada, E.; Sugimoto, A.; Takai, Y. (1992) Greenhouse gas emission from wetland ecosystems with special reference to bubble methane. In: Coastal Swamp Land in Southern Thailand and Malaysia (ed. by Kyuma, K.; Vijarnsorn, P.; Zakaria, A.). pp. 405-416. Nodai Center International Programs, Tokyo Univ. of Agriculture. [CH₄, paddy field, δ¹³C]
- 140) Nakatsuka, T.; Handa, N.; Wada, E.; Wong (1992) The dynamic changes of stable isotopic ratios of carbon and nitrogen in suspended and sedimented particulate organic matter during a phytoplankton bloom. J. Mar. Res. 50: 267-296. [δ¹⁵N, phytoplankton, sinking particle]
- 141) Takahashi, K.; Wada, E.; Sakamoto, M. (1992) Carbon isotope ratio and photosynthetic activity of phytoplankton in the eutrophic Mikawa Bay, Japan. Ecol. Res. 7: 355-361. [δ¹³C, ¹³C tracer, phytoplankton.]
- 142) Watanabe, I.; Wada, E. (1992) Nitrogen fixation in flooded rice soils and aquatic and sediment systems. In: Nitrogen Isotope Techniques. (ed. by Knowles, R.; Blackburn, T.H.). pp. 157-178. Academic Press, NY. [¹⁵N tracer, N₂ fixation, technique]
- 143) 和田英太郎 (1992) 自然と生命の二重らせん: 生物地球化学から見た物質循環. Illume 4 (1): 4-23. [物質循環, 大気酸素, 生物圏]
- 144) 和田英太郎 (1992) 自然と生命の二重らせん. 21世紀 新しいライフサイエンスの展開, 三菱化成生命科学研究所20周年記録集. pp. 127-137. [地球環境問題, 物質循環, 進化と進歩]
- 145) 和田英太郎 (1992) 生命科学の進歩と社会. 化学と工業 45 (8): 1393-1394. [生命科学, 社会, 環境科学]

- 146) 和田英太郎 (1992) 生物起源物質の窒素, 炭素同位体組成について. 第 20 回日本アイソトープ, 放射線総合会議報文集. pp. 536-545. [$d^{15}N$, $d^{13}C$, 生物]
- 147) 杉本敦子; 和田英太郎 (1992) 生物圏における安定同位体分布と地球環境. RADIOISOTOPES 41: 366-376. [$d^{15}N$, $d^{13}C$, 生物圏]
- 148) Ichikawa, T.; Yoshioka, T.; Wada, E.; Hayashi, H. (1992) Nitrogen uptake rate of small zooplankton using ^{15}N tracer. Jpn. J. Limnol. 53: 273-280. [^{15}N tracer, zooplankton, uptake rate]
- 149) Katase, T.; Hirota, S.; Naoi, M.; Yamamoto, K.; Sumida, H.; Wada, E.; Khanif, Y.M.; Vijarnsorn, P. (1992) A comparison of phenolic constituents in peat soils between subfrigid area, Japan and tropical areas of Peninsula Malaysia and Thailand. Proceedings of the International Symposium on tropical Peatland, 6-8th May 1991, Kuching. pp. 57-65. [peat soil, phenolic compounds, tropical region]

YUMA, Masahide 遊磨正秀

- 39) 遊磨正秀 (1992) 川とゲンジボタル ホタルの眼, 人の眼 . In: 私たちのホタル. (ed. by 琵琶湖研究所・水と文化研究会). pp. 15-30.
- 40) 遊磨正秀 (1992) ヘイケボタルとカワニナ. In: 私たちのホタル. (ed. by 琵琶湖研究所・水と文化研究会). pp. 41-44.
- 41) 遊磨正秀 (1992) 水環境, 人の眼, ホタルの眼 ホタルダス調査について . In: 第10回琵琶湖研究シンポジウム シロウトサイエンスのサイエンス. (ed. by 琵琶湖研究所). pp. 9-13.
- 42) 遊磨正秀 (1992) タンガニイカ湖における魚類の共存様式. In: さまざまな共生 生物種間の多様な相互作用 (ed. by 大串隆之). pp. 53-70. 平凡社, 東京.
- 43) 遊磨正秀 (1992) 琵琶湖の環境保全とホタル. In: アジア湿地シンポジウム(大津/釧路)要旨集. p. 19. 【Yuma, M. (1992) Conservation and management of freshwater around Lake Biwa, through the relationship between human and aquatic fireflies. In: Asian Wetland Symposium (Otsu/Kushiro), Abstracts. p. 19.】
- 44) 遊磨正秀 (1992) 日本の昆虫類の現状と生息環境. In: 滅びゆく日本の野生動物. (ed. by 今泉忠明). pp. 126-129. 成美堂出版, 東京.

B. Research Students and Fellows 大学院生・研修員

HARAGUCHI, Akira 原口昭

- 11) Haraguchi, A. (1992) Seasonal change in the redox property of peat and its relation to vegetation in a system of floating mat and pond. *Ecol. Res.* 7: 205-212.

KAMEDA, Kayoko 亀田佳代子

- 1) Kameda, K. (1991) The breeding ecology and clutch size of the rufous turtle dove *Streptopelia orientalis*. 筑波大学大学院環境科学研究科修士論文.
2) 亀田佳代子 (1992) キジバトの威嚇行動と擬傷行動について. In: 1992年度日本鳥学会大会講演要旨集. p. 45.

KATAYAMA, Masao 片山雅男

- 17) 片山雅男 (1992) 登山実習 附属演習林野外実習体験記. *自然と教育* 5: 14-19. 奈良教育大学附属農場・演習林.
18) 片山雅男 (1992) 多量のデータを処理する. In: *情報処理 考え方の基礎とBASICプログラミング*. (ed. by 久米直明; 柿木正平; 蒔田明史; 松井淳; 片山雅男, 他). pp. 106-174. 同志社女子大学短期大学部.
19) 片山雅男 (1992) 深泥池の自然 (34) 浮島の植物と水位. *京都新聞* 1992/9/28.

MAKITA, Akifumi 蒔田明史

- 23) 蒔田明史; 鹿取悦子 (1992) 昆虫の寄生によるササの結実率の低下. 第39回日本生態学会講演要旨集 p. 18. [ササの部分開花, 寄生, 結実率, Satiation仮説]
24) 蒔田明史 (1992) プログラムを作ってみよう. In: *情報処理 考え方の基礎とBasicプログラミング*. (ed. by 久米直明; 柿木正平; 蒔田明史; 松井淳; 片山雅男, 他). pp. 58-104. 同志社

女子大学短期大学部.

- 25) 蒔田明史 (1992) 深泥池の自然 (36) ヨシ 植物群落崩壊の危険性も. 京都新聞 1992/10/19.
- 26) Makita A. (1992) Survivorship of a monocarpic bamboo grass, *Sasa kurilensis*, during the early regeneration process after mass flowering. *Ecol. Res.* 7: 245-254. [C/F ratio, mass flowering, *Sasa kurilensis*, self-thinning, survivorship]

MATSUBARA, Takeshi 松原健司 _____

- 12) 松原健司 (1992) 手賀沼におけるハシビロガモ (*Anas clypeata*) の消化管内容物. 陸水学雑誌 53: 373-377.

MATSUI, Kiyoshi 松井 淳 _____

- 13) 松井淳 (1992) QuickBASICを上手に使いこなすために. In: 情報処理 考え方の基礎とBasic プログラミング. (ed. by 久米直明; 柿木正平; 蒔田明史; 松井淳; 片山雅男, 他). pp. 232-260. 同志社女子大学短期大学部.
- 14) 松井淳 (1992) カキツバタ - 大きな群落で自生, 深泥池の自然 (16). 京都新聞 1992/5/4.

MIYAJIMA, Toshihiro 宮島利宏 _____

- 1) Miyajima, T. (1992) Biological manganese oxidation in a lake I: Occurrence and distribution of *Metallogenium* sp. and its kinetic properties. *Archiv für Hydrobiologie* 124: 317-335.
- 2) Miyajima, T. (1992) Biological manganese oxidation in a lake II: A thermodynamic consideration of the habitat utilization of *Metallogenium* sp. *Archiv für Hydrobiologie* 124: 411-426.
- 3) Miyajima, T. (1992) Production of *Metallogenium*-like particles by heterotrophic manganese-oxidizing bacteria collected from a lake. *Archives of Microbiology* 158: 100-106.
- 4) Miyajima, T. (1992) Decomposition activity and nutrient regeneration rates in the hypolimnion of the north basin of Lake Biwa. *Jpn. J. Limnol.* 53: 65-73.
- 5) Miyajima, T. (1992) Recycling of nitrogen and phosphorus from the particulate organic matter associated with the proliferation of bacteria and microflagellates. *Jpn. J. Limnol.* 53: 133-138.
- 6) 平山彰彦; 中西正己; 宮島利宏; 中野伸一; 熊谷道夫 (1992) 短期的水質モデルパラメータのキャ

リブレーション. 海岸工学論文集 39: 976-980.

- 7) Nakanishi, M.; Miyajima, T.; Nakano, S.; Tezuka, Y. (1992) Studies on the occurrence of *Anabaena* and *Microcystis* blooms in Akanoi Bay of the south basin of Lake Biwa, with special attention to nutrient levels. Ann. Rep. Interdiscipl. Res. Inst. Environ. Sci. 11: 67-75.

NAKANO, Shin-ichi 中野伸一

- 6) Nakanishi, M.; Tezuka, Y.; Narita, T.; Mitamura, O.; Kawabata, K.; Nakano, S. (1992) Phytoplankton primary production and its fate in a pelagic area of Lake Biwa. Arch. Hydrobiol. Beih. Ergebn. Limnol. 35: 47-67.
- 7) Nakano, S. (1992) Changes in bacterioplankton production and dominant algal species in the north basin of Lake Biwa. Jpn. J. Limnol. 53: 145-149.
- 8) Nakanishi, M.; Miyajima, T.; Nakano, S.; Tezuka, Y. (1992) Studies on the occurrence of *Anabaena* and *Microcystis* blooms in Akanoi bay of the south basin of Lake Biwa, with special attention to nutrient levels. Ann. Rept. Interdiscipl. Res. Inst. Environ. Sci. 11: 67-75.
- 9) 平山彰彦; 中西正己; 宮島利宏; 中野伸一; 熊谷道夫 (1992) 短期的水質モデルパラメータのキャリブレーション. 海岸工学論文集 39: 976-980.

NOMA, Naohiko 野間直彦

- 15) 野間直彦 (1992) 屋久島の生き物たち 冬から春へ. そんぐぼすと(55) p. 16.
- 16) 野間直彦 (1992) 液果の形態・フェノロジーと鳥散布. 第39回日本生態学会大講演要旨集 p. 206.
- 17) 野間直彦 (1992) 屋久島の生き物たち 溪流ぞいの植物. そんぐぼすと(56) p. 16.
- 18) 野間直彦 (1992) 液果の形態・フェノロジーと鳥散布 関係をとらえる視点と課題 . フェノロジー研究 19: 7-8.
- 19) 堀田満; 野間直彦; 鈴木英治 (1992) 西カリマンタンのオオバギ属 *Macaranga* の生態 1. 種類と分布. 第2回日本熱帯生態学会大会講演要旨集.
- 20) 野間直彦; 堀田満; 鈴木英治; Partomihardjo, T.; 小池文人 (1992) 西カリマンタンのオオバギ属 *Macaranga* の生態 2. 群集構造. 第2回日本熱帯生態学会大会講演要旨集.
- 21) 鈴木英治; 堀田満; Partomihardjo, T.; 小池文人; 野間直彦 (1992) 西カリマンタン州の旧ランダック王国におけるテンガワン植林の成立過程. 第2回日本熱帯生態学会大会講演要旨集.

- 22) 野間直彦 (1992) 屋久島の生き物たち 磯の魚. そんぐぼすと(57) p. 20.
- 23) 野間直彦 (1992) 色づく木の実. 深泥池の自然42. 京都新聞 1992/12/7.
- 24) 野間直彦 (1992) 屋久島の生き物たち 鳥に似た木の実?. そんぐぼすと(58) p. 17.
- 25) 野間直彦 (1992) 屋久島の生き物たち 屋久スギー1. そんぐぼすと (59) p. 16.
- 26) Noma, N.; Suzuki, E.; Kohyama, T.; Yamada, T.; Partomihardjo T.; Hotta, M. (1992) Comparative ecology of *Macaranga* species (Euphorbiaceae). In: Structure and regeneration dynamics of tropical dipterocarp rain forests in varying degrees of management: Tentative Final Report to LIPI. pp. 43-47.
- 27) Kohyama, T.; Suzuki, E.; Noma, N.; Yamada, T.; Partomihardjo, T. (1992) Forest plot establishment in Gunung Brui, Serimbu. In: Structure and regeneration dynamics of tropical dipterocarp rain forests in varying degrees of management: Tentative Final Report to LIPI. pp. 6-15.
- 28) Suzuki, E.; Kohyama, T.; Noma, N.; Yamada, T. (1992) Preliminary observation of vegetation between Sanggau Ledo and Gunung Niut. In: Structure and regeneration dynamics of tropical dipterocarp rain forests in varying degrees of management: Tentative Final Report to LIPI. pp. 93-94.

SAKUMA, Daisuke 佐久間大輔 _____

- 3) 佐久間大輔 (1992) 外生菌根菌子実体と宿主・非宿主植物の空間分布. 第36回日本菌学会大会講演要旨集 p. 217.
- 4) 小林久泰; 小林孝人; 佐久間大輔; 明間民夫; 山中高史; 菊地淳一; 横山和正 (1992) 外菌根の同定とその応用について. 1992年度菌根研究会大会講演要旨集 p. 3.
- 5) 佐久間大輔 (1992) 里山と菌類. 1992年度鳥学会大会講演要旨集 p. 133.
- 6) 佐久間大輔 (1992) 深泥ヶ池のキノコ. 京都新聞 1992/7/20.
- 7) 佐久間大輔 (1992) NGOサテライトフォーラム「SUSTAINABLE USEの現状と展望」・「NGO交流会」報告. In: CITES'92 NGO活動資料集. pp. 231-235.

URANO, Eiichiro 浦野栄一郎 _____

- 1) Urano, E. (1985) Polygyny and the breeding success of the great reed warbler *Acrocephalus arundinaceus*. Res. Popul. Ecol. 27: 393-412. [Aves, Sylviinae, behavioural ecology, population,

mating system]

- 2) 池田善英; 石塚徹; 浦野栄一郎; 戸田光彦; 山本正恵 (1990) 金沢大学城内キャンパスで観察された鳥類. 金沢大学理学部附属植物園年報 13: 27-36. [鳥類相, 都市鳥, 旅鳥, 保全]
- 3) Urano, E. (1990) Intra-sexual relationships among polygynously mated female great reed warblers *Acrocephalus arundinaceus*. Jap. J. Ornithol. 38: 109-118. [Aves, Sylviinae, behavioural ecology, mating system, female-female repulsion]
- 4) Urano, E. (1990) Factors affecting the cost of polygynous breeding for female great reed warblers *Acrocephalus arundinaceus*. Ibis 132: 584-594. [Aves, Sylviinae, behavioural ecology, mating system, parental care, climate]
- 5) 浦野栄一郎 (1992) 鳥類の配偶システムと子育て. 週刊朝日百科: 動物たちの地球 7: 158-160. [解説, 行動生態学, 社会生態学, 繁殖, つがい, 資源]
- 6) Urano, E. (1992) Early settling the following spring: a long-term benefit of mate desertion by male great reed warblers *Acrocephalus arundinaceus*. Ibis 134: 83-86. [Aves, Sylviinae, behavioural ecology, mating system, moult, breeding success]
- 7) Nagata, H.; Urano, E.; Eguchi, K.; Yamagishi, S. (1992) Avifauna of each study sites visited in Madagascar. In: Social structure of Madagascar higher vertebrates in relation to their adaptive radiation. (ed. by Yamagishi, S.). pp. 21-27. Osaka City University, Osaka. [research report, avian community, species diversity]
- 8) Yamagishi, S.; Urano, E.; Eguchi, K. (1992) The social structure of rufous vanga (*Schetba rufa*) in Ampijoroa, Madagascar. In: Social structure of Madagascar higher vertebrates in relation to their adaptive radiation. (ed. by Yamagishi, S.). pp. 46-52. Osaka City University, Osaka. [research report, Aves, Vangidae, behavioural ecology, mating system, cooperative breeding]
- 9) Urano, E.; Yamagishi, S.; Andrianarimisa, A.; Andriatsarafara, S. (1992) Different height use among three sympatric species of couas in a dry forest at Ampijoroa, Western Madagascar. In: Social structure of Madagascar higher vertebrates in relation to their adaptive radiation. (ed. by Yamagishi, S.). pp. 53-57. Osaka City University, Osaka. [research report, Aves, Cuculidae, habitat use, foraging behaviour]
- 10) Yamagishi, S.; Urano, E.; Rakotoarison, N.; Randriamahazo, H.; Randrianasolo, V. (1992) A possible significance of dichromatism in male Madagascar paradise flycatchers (*Terpsiphone mutata*). In: Social structure of Madagascar higher vertebrates in relation to their adaptive radiation. (ed. by Yamagishi, S.). pp. 58-61. Osaka City University, Osaka. [research report, Aves, Monarchidae, behavioural ecology]

- 1) 橋谷博; 奥村稔; 藤永薫; 近藤邦男; 清家泰; 山田佳裕 (1992) 宍道湖・中海の水質変動に与える気象・海象の影響 (その1) 大橋川栄養塩フラックス調査. 山陰地域研究 (自然環境) 8: 51-67.

C. Guest Scientists 協力研究員

AOKI, Toyoaki 青木豊明

- 1) Aoki, T.; Kawakami, K. (1992) Continuous-flow method for the determination of total trihalomethane formation potential in waters. *Anal. Chim. Acta* 261: 335-338.
- 2) Aoki, T.; Fujie, K. (1992) Formation of chlorine dioxide from chlorite by UV irradiation. *Chem. Express* 7: 609-612.

FUKAMI, Kimio 深見公雄

- 1) Fukami, K.; Nishijima, T.; Hata, Y. (1992) Availability of deep seawater and effects of bacteria isolated from deep seawater on the mass culture of food microalga *Chaetoceros ceratosporum*. *Nippon Suisan Gakkaishi* 58: 931-936.
- 2) Fukami, K.; Yuzawa, A.; Nishijima, T.; Hata, Y. (1992) Isolation and properties of a bacterium inhibiting the growth of *Gymnodinium nagasakiense*. *Nippon Suisan Gakkaishi* 58: 1073-1077.

HIGASHI, Masahiko 東正彦

- 1) Higashi, M.; Burns, T.P.; Patten, B.C. (1992) Trophic niches of species and trophic structure of ecosystems: complementary perspectives through food network unfolding. *Journal of theoretical Biology* 154: 57-76.
- 2) Yamamura, N.; Higashi, M. (1992) An evolutionary theory of conflict resolution between relatives: altruism, manipulation, compromise. *Evolution* 46: 1236-1239 .
- 3) Higashi, M.; Abe, T.; Burns, T.P. (1992) Carbon-nitrogen balance and termite ecology. *Proceedings of the Royal Society, London* B249: 303-308.
- 4) 東正彦; 安部琢哉, 編著 (1992) 地球共生系とは何か (シリーズ「地球共生系」第1巻). 164 pp. 平凡社, 東京.
- 5) 東正彦 (1992) 多様な生物の共存機構を探る. In: さまざまな共生 (シリーズ「地球共生系」第2巻) (ed. by 大串隆之). pp. 183-198. 平凡社, 東京.

6) 東正彦 (1992) (話し手) 緑と水の惑星をシロアリ社会が支える. 科学朝日 1992 Feb.: 17-20.

HINO, Shuji 日野修次

- 1) Hino, S. (1992) The physiological state of the phytoplankton community of three types of lakes as estimated by its adenylate energy charge. *Hydrobiologia* 230: 179-192. [ATP, 湖沼型, 植物プランクトン, 垂直分布, 生理活性]
- 2) 日野修次 (1992) アオコ及び淡水赤潮研究の現状と課題. *産業公害* 28: 585-591. [アオコ, 淡水赤潮]

INUBUSHI, Kazuyuki 犬伏和之

- 1) 犬伏和之; 村松泰彦; 梅林正直 (1992) 透水処理が水田からのメタン放出に及ぼす影響. *日本土壤肥料学会誌* 63: 184-189. [メタン, 水田土壌, 透水, 溶存ガス, 有機酸]
- 2) Inubushi, K.; Umebayashi, M. (1992) Current overview of global environmental issues. Rept. *Environmental Sci. Mie University (三重大学環研紀要)* 16: 77-88. [地球環境問題, 地球温暖化, オゾン層破壊, 森林破壊, 砂漠化, 国際協力]
- 3) 犬伏和之; 柴原藤善; 辻藤吾; 梅林正直 (1992) クロロホルムくん蒸抽出法による湛水前水田土壌中の微生物バイオマス窒素の定量. *日本土壤肥料学雑誌* 63: 342-344. [ATP, 水田土壌, 微生物バイオマス, ニンヒドリン発色物, 有機物連用]

ISHIDA, Yuzaburo 石田祐三郎

- 1) 左子芳彦; 足立真佐雄; 石田祐三郎 (1992) アイソザイム, モノクローナル抗体法による微細藻の識別. In: *微生物の生態 18 微生物生態学の新たな展開と手法*. pp. 61-78. 学会出版センター, 東京.
- 2) Nishio, T.; Ishida, Y. (1992) Inhibition of bacterial growth by dihydroxamate siderophore alcaligin. *Bull. Jap. Soc. Microb. Ecol.* 7: 39-42.
- 3) Mitsutani, A.; Takesue, K.; Kirita, M.; Ishida, Y. (1992) Lysis of *Skeletonema costatum* by *Cytophaga* sp. isolated from the coastal water of the Ariake Sea. *Nippon Suisan Gakkaishi* 58: 2159-2169.

- 4) Uchida, A.; Yoshikawa, T.; Ishida, Y.; Saga, N. (1992) Stable protoplast isolation and its regeneration into thallus of the marine green alga *Ulva pertusa*. *Nippon Suisan Gakkaishi* 58: 153-157.
- 5) Uchida, A.; Oguri, T.; Ishida, Y. (1992) Seasonal variations in dimethylsulfide in the water of Maizuru Bay. *Nippon Suisan Gakkaishi* 58: 255-259.
- 6) Uchida, A.; Oguri, T.; Ishida, Y. (1992) The distribution of dimethylsulfide in the water of Japan and in the subtropical and tropical pacific ocean. *Nippon Suisan Gakkaishi* 58: 261-265.
- 7) Sako, Y.; Kim, C.H.; Ishida, Y. (1992) Mendelian inheritance of paralytic shellfish poisoning toxin in the marine dinoflagellate *Alexandrium catenella*. *Biosci. Biotech. Biochem.* 56: 692-694.
- 8) Yoshinaga, I.; Ishida, Y. (1992) Strategy of oligotrophic growth of pelagic marine bacteria. *Arch. Hydrobiol. Beih.* 37: 95-100.
- 9) 左子芳彦; 金昌勲; 石田祐三郎 (1992) 麻痺性貝毒の起源 海産渦鞭毛藻 *Alexandrium* 属. *化学と生物* 30: 212-220.
- 10) 石田祐三郎 (1992) Unculturableからculturableへ. *マリンバイオテクノロジー研究会報* 5: 1.
- 11) 石田祐三郎; 内田有恆; 左子芳彦; 吉永郁生 (1992) 海洋微生物による有用魚類の成長・分化・生殖の化学的制御に関する研究. 昭和63年度～平成3年度科学研究費補助金, 一般研究 (A) 研究成果報告書.
- 12) 石田祐三郎 (1992) 海洋生物の発育に対する制御機構の解明. *バイオテクノロジー先端技術シーズ培養研究. 平成3年度成果報告書.*
- 13) 石田祐三郎; 左子芳彦; 吉永郁生 (1992) アレキサンドリウム属に含まれる麻痺性貝毒の生成起源の究明に関する研究. 平成3年度貝毒安全対策事業報告書.
- 14) 左子芳彦; 石田祐三郎 (1992) アイソザイム分析による有毒渦鞭毛藻アレキサンドリウム属及びギムノディニウム属の識別に関する研究. 平成3年度貝毒安全対策事業報告書.
- 15) 石田祐三郎; 吉永郁生 (1992) 田辺湾における *Gymnodinium nagasakiense* 赤潮発生に関わる細菌の影響. 平成3年度赤潮対策技術開発試験報告書.
- 16) 内田有恆; 石田祐三郎 (1992) モノクローナル抗体による赤潮生物簡易判別法の開発. 平成3年度赤潮対策技術開発試験報告書.
- 17) 石田祐三郎 (1992) 平成3年度栄養塩類構成比変化影響調査報告書.

ITINO, Takao 市野隆雄 _____

- 1) Itino, T. (1992) Differential diet breadths and species coexistence in leafroller-hunting eumenid wasps. *Researches on Population Ecology* 34: 203-211.
- 2) 市野隆雄 (1992) ドロバチ類の個体群動態に関する比較生態学的研究. 324 pp. 京都大学博士

論文.

- 3) 杉山隆史; 鷲巢政志; 市野隆雄; 市川俊英; 岡本秀俊 (1992) スギカミキリ成虫の配偶行動. 日本応用動物昆虫学会誌 36: 5-12.
- 4) 杉山隆史; 阿南一; 市野隆雄; 市川俊英; 岡本秀俊 (1992) スギカミキリ成虫の飛翔行動ならびにスギ生立木枝部および林床における行動. 日本林学会誌 74: 273-281.

ITÔ, Yoshiaki 伊藤嘉昭 _____

- 1) 伊藤嘉昭; 山村則男; 嶋田正和 (1992) 動物生態学. 507 pp. 蒼樹書房. 東京.
- 2) 伊藤嘉昭 (1992) 矛盾をはらんだ生態学への寄与: その強い影響力の意味を問う. アニマ 241: 46-47.
- 3) Itô, Y. (1992) Role of basic ecological/ethological studies for measurement and control of mating competitiveness of mass-reared melon fly males: A review. In: Fruit flies in the tropics. Proc. 1st International Symposium (March 1988, Kuala Lumpur). pp. 251-266.
- 4) Itô, Y.; Yamane, S. (1992) Social behaviour of two primitively eusocial wasps, *Ropalidia* sp. nr. *variegata* and *R. gregaria gregaria* (Hymenoptera: Vespidae) in the Northern Territory, Australia, with special reference to task specialization and mating inhibition. *J. Ethology* 10: 63-74.
- 5) Yamagishi, M.; Itô, Y.; Tsubaki, Y. (1992) Sperm competition in the melon fly, *Bactrocera cucurbitae* (Diptera: Tephritidae): Effect of sperm "longevity" on sperm precedence. *J. Insect Behavior* 559-608.
- 6) Itô, Y. (1992) Relocation of nests by swarms and nest reconstruction in late autumn in the primitively eusocial wasp, *Ropalidia fasciata*, with discussions on the role of swarming. *J. Ethology* 10: 109-117.

IWASA, Yoh 巖佐庸 _____

- 1) Iwasa, Y.; Yamauchi, A.; Nozoe, S. (1992) Optimal seasonal timing of univoltine and bivoltine insects. *Ecological Research* 7: 55-62.
- 2) Iwasa, Y.; Sato, K.; Kakita, M.; Kubo, T. (1992) Modelling biodiversity: latitudinal gradient of forest species diversity. In: *Ecosystem function of biodiversity* (ed. by Schulze, E.-D.; Mooney, H.) pp. 433-451. Springer-Verlag.
- 3) 巖佐庸 (1992) 進化における性の役割. 「生態学からみた進化」講座「進化」7: 125-171. 東

京大学出版会

- 4) 巖佐庸 (1992) 送紛共生系を進化生態学から見て. In: 昆虫を誘い寄せる戦略: 植物の繁殖と共生. (ed. by 井上健; 湯本貴和). pp 161-182. 平凡社.
- 5) 巖佐庸 (1992) むだな男がなぜ必要なのか. 科学朝日 1992 Jan.: 22-25.
- 6) 巖佐庸 (1992) 高橋真理子の真理探求「方程式から生物がわかる」(インタビュー). 科学朝日 1992 Sept.: 72-76.
- 7) 巖佐庸 (1992) 数理生物学の展望. In: 数理科学の展望: 21世紀の基礎科学の課題. pp. 116-127. サイエンス社.
- 8) 巖佐庸, 訳 (1992) 地球上には何種の生物がいるのか. (Robert May). 日経サイエンス 1992 Dec.: 40-49.

KATO, Kenji 加藤憲二 _____

- 1) Takada, K.; Kato, K.; Okino, T. (1992) Environmental parameters and estimation of *Rhyacodrilus* (Tubificidae, Oligochaeta) in Lake Suwa. *Ecography* 15: 328-333.
- 2) Kato, K.; Oh, S.; Yamamoto, H.; Hamazato, H.; Takahashi, M. (1992) Enclosure experiment on the control mechanism of planktonic bacterial standing stock. *Ecol. Res.* 7: 267-276.
- 3) Kato, K. (1992) A preliminary study on the behavior of *E. coli* under the natural environment - chase by image analyzer. In *Proceedings of the 6th International Symposium on Lake Environment* (ed. by Cho, K.; Ahn, T.S.). pp. 84-91. Kangweon National University, Korea.

KONDO, Takaki 近藤高貴 _____

- 1) Kondo, T. (1992) Population density and growth of *Unio douglasiae* and *Lanceolaria grayana* (Bivalvia: Unionidae) in a small creek at Kyoto. *Venus (Jap. Jour. Malac.)* 51: 219-224.

KOYAMA, Naoki 小山直樹 _____

- 1) Koyama, N.; Takahata, Y.; Huffmam, M.A.; Norikoshi, K.; Suzuki, H. (1992) Reproductive parameters of female Japanese macaques: Thirty years data from the Arashiyama Troops, Japan. *Primates* 33 (1): 33-47.

- 2) 小山直樹 (1992) カニクイザルの社会と生活. In: スマトラの自然と人々. (ed. by 堀田満; 井上民二; 小山直樹). pp. 114-130. 八坂書房.
- 3) 小山直樹 (1992) 原始的なサルである「原猿類」はその名の通り, 古いタイプの哺乳類の特徴をもっている. 週間朝日百科8: (哺乳類I) 130-131. 朝日新聞社, 東京.
- 4) 小山直樹 (1992) 木から木へと跳躍移動 インドリ. 週間朝日百科8: (哺乳類I) 140-141. 朝日新聞社, 東京.
- 5) 小山直樹 (1992) コビトキツネザル, イタチキツネザル, インドリの仲間たち. 週間朝日百科8: (哺乳類I) 142-143. 朝日新聞社, 東京.
- 6) 小山直樹 (1992) 甘美なおいづけ行動 ワオキツネザル. 週間朝日百科8: (哺乳類I) 146-149. 朝日新聞社, 東京.
- 7) 小山直樹 (1992) キツネザル, メガネザルの仲間たち. 週間朝日百科8: (哺乳類I) 156-157. 朝日新聞社, 東京.
- 8) Koyama, N. (1992) Multiple births and care-taking behavior of ring-tailed lemurs (*Lemur catta*) at Berenty, Madagascar. In: Social structure of Madagascar higher vertebrates in relation to their adaptive radiation. (ed. by Yamagishi, S.). pp. 5-9. Osaka City University.
- 9) Koyama, N. (1992) Some demographic data of ring-tailed lemurs (*Lemur catta*) at Berenty, Madagascar. In: Social structure of Madagascar higher vertebrates in relation to their adaptive radiation. (ed. by Yamagishi, S.). pp. 10-12. Osaka City University.

MORI, Toyohiko 森 豊彦 _____

- 1) 森豊彦 (1992) 農家からみた里山の哺乳類. 里山研究会ニュースレター 2: 2-6.
- 2) 森豊彦 (1992) シンポジウム「生き物と共生するまちづくり・里づくり」 地球環境時代におけるビオトープの保全と復元をめざして 参加報告. 京都大学生態学研究センター・ニュース 12: 10-11.

MORINO, Hiroshi 森野 浩 _____

- 1) Bousfield, E. L.; Morino, H. (1992) The amphipod genus *Ramellogammarus* in fresh waters of western north America: Systematics and distributional ecology. *Contr. Nat. Sci.* 17: 1-21.
- 2) 森野浩 (1992) バイカル湖研究と日本BICER協議会 (JABIRP) について. *動物分類学会誌* 47: 10.

- 3) 森野浩 (1992) バイカル湖における国際共同研究について. 2. 予備調査報告. 陸水学雑誌 53 (3): 257-258.

OHGUSHI, Takayuki 大串隆之 _____

- 1) Hunter, M.D.; Ohgushi, T.; Price, P.W., eds. (1992) Effects of resource distribution on animal-plant interactions. Academic Press, San Diego.
- 2) Ohgushi, T. (1992) Resource limitation on insect herbivore populations. In: Effects of resource distribution on animal-plant interactions (ed. by Hunter, M.D.; Ohgushi, T.; Price, P.W.). pp. 199-241. Academic Press, San Diego.
- 3) 大串隆之 (1992) 個体群から種間関係へ. In: 地球共生系とはなにか. (ed. by 安部琢哉; 東正彦). pp. 200-217. 平凡社, 東京.
- 4) 大串隆之, 編 (1992) さまざまな共生. 230 pp. 平凡社, 東京.
- 5) 大串隆之 (1992) 昆虫と植物の相互関係. In: さまざまな共生. (ed. by 大串隆之). pp. 97-114. 平凡社, 東京.
- 6) Ohgushi, T. (1992) Within-population variation in demography of a herbivorous lady beetle. In: Insect-plant relationships (ed. by Menken, S.B.J.; Visser, J.H.; Harrewijn.). pp. 41-42. Kluwer Academic Publ., Dordrecht.

ONOHAMA, Keiichi 小野山敬一 _____

- 1) 小野山敬一 (1992) 進化は事実? 北海道新聞 1992/1/6.
- 2) 小野山敬一 (1992) 進化のもととはでたらめ? 北海道新聞 1992/1/13.
- 3) 小野山敬一 (1992) 風吹けば, の論理. 北海道新聞 1992/1/20.
- 4) 小野山敬一 (1992) ガレ場にて. 北海道新聞 1992/1/27.
- 5) 森下正明; 久保田政雄; 小野山敬一; 緒方一夫; 寺山守; 山内克典; 園部力男; 山根正気; 近藤正樹; 今井弘民, 編 (1992) 日本産アリ類の検索と解説 (III) フタフシアリ亜科, ムカシアリ亜科 (補追). v+94pp. 日本蟻類研究会, 東京. [アリ類, 分類, 分布, 生態]

SUZUKI, Kunio 鈴木邦雄

- 1) Suzuki, K.; Niyomdham, C. (1992) Phytosociological studies on tropical peat swamps. 1. Classification of vegetation at Narathiwat, Thailand. *Tropics* 2: 49-65. [熱帯林, 泥炭湿地, 植生, 群落分類]
- 2) Suzuki, K. (1992) Phytosociological studies on tropical peat swamps. 2. Vegetation at Muar, Malaysia. *J. Phytogeogr. Taxon.* 40: 131-132. [熱帯林, 泥炭湿地, 植生, 群落分類]
- 3) Suzuki, K.; Hara, K.; Nagano, T. (1992) Phytosociological studies on the peat swamp vegetation. 3. Secondary forest at Narathiwat, Thailand. In: *Researches Related to the UNESCO's MAB Programme in Japan (1991-1992)*.
- 4) 原慶太郎; 鈴木邦雄 (1992) タイ国南部の泥炭湿地林におけるつる植物. *群落研究* 8: 37-46. [熱帯林, 泥炭湿地, 植生, 群落分類]
- 5) 原慶太郎; 鈴木邦雄 (1992) 熱帯林劣化の現状とエコマネジメント 地球環境問題の解決策を求めて. *産業公害* 28 (4): 13-20. [熱帯林, 環境]
- 6) 鈴木邦雄; 有賀祐勝 (1992) 劣化した二次林の修復に関するワークショップ (MAB地域セミナー) 報告. *Japan InfoMAB* 12: 6-7. [二次林, ユネスコ, MAB計画, 環境修復]
- 7) Suzuki, K.; Zahari, A.B.; Masrom, H. (1992) Vegetation dynamics on the peat swamps at Muar, Malaysia. In: *Tropical peat (Proceedings of the International Symposium on Tropical Peatland, Mardi)*. pp. 269-276. [熱帯林, 泥炭湿地, 植生, 群落分類]

TADAKI, Yoshiya 只木良也

- 1) 只木良也 (1992) 森林はなぜ必要か. 119 pp. 小峰書店, 東京.
- 2) Tadaki, Y. (1992) Phenology on leaves of japanese larch with altitudinal change. In: *Protection and management of mountain forests.* (ed. by Yang, Y.; Zhang, J.). pp. 149-155. Science Press, Beijing & New York.
- 3) 只木良也 (1992) 森林のしくみと生態. 森林と人間生活環境. In: *森林インストラクター入門.* (ed. by 全国林業改良普及協会). pp. 32-46; 47-55. 全国林業改良普及協会, 東京.
- 4) 只木良也 (1992) 生態系と環境問題 とくに森林について. In: *環境を考える.* (ed. by 名古屋大学公開講座委員会). pp. 33-44. 名古屋大学出版会, 名古屋.
- 5) 只木良也 (1992) 海岸林の生態 特にマツ林を中心として. 景観・保健的利用と海岸林. In: *日本の海岸林.* (ed. by 村井宏; 石川政幸; 遠藤治郎; 只木良也). pp. 50-66; 354-360. ソフトサイエンス社, 東京.

- 6) 只木良也 (1992) 環境指標とその計測・評価 7. 植物. In: 都市と環境 現状と対策. (ed. by 中村英夫). pp. 265-268. ぎょうせい, 東京.

TAKAMURA, Noriko 高村典子 _____

- 1) Takamura, N.; Otsuki, A.; Aizaki, M.; Nojiri, V. (1992) Phytoplankton species shift accompanied by transition from nitrogen dependence to phosphorus dependence of primary production in Lake Kasumigaura, Japan. Arch. Hydrobiol. 124: 129-148.
- 2) Takamura, N.; Zhu, X.B.; Vang, H.Q.; Ye, L.; Hong, F.; Miura, T. (1992) High biomass and production of picoplankton in a Chinese integrated fish culture pond. Hydrobiologia 237: 15-23.
- 3) Watanabe, M.M.; Kaya, K.; Takamura, N. (1992) Fate of the toxic cyclic heptapeptides, the microcystins, from blooms of *Microcystis* (Cyanobacteria) in a hypertrophic lake. J. Phycol. 28: 761-767.
- 4) 岩田勝哉; 高村典子; 李家楽; 朱学宝; 三浦泰蔵 (1992) 中国総合養魚の生態・生理学的研究 1 - 好気的実験条件下におけるソウギョの糞の分解過程. 日本陸水学雑誌 53: 341-354.

TAKEMON, Yasuhiro 竹門康弘 _____

- 1) 竹門康弘 (1992) 溪流魚とカゲロウの食う食われる関係. フライの雑誌 19: 32-39.
- 2) 竹門康弘 (1992) 捕食者 被捕食者における「副作用」と捕食者の社会構造. 個体群生態学会報 49: 76-87.

TANIDA, Kazumi 谷田一三 _____

- 1) 谷田一三; 西野麻知子 (1992) トビケラ目. In: びわ湖の底生動物 水辺の生きものたち II. 水生昆虫編. (ed. by 西野麻知子) . pp. 28-48. 滋賀県琵琶湖研究所.
- 2) 谷田一三 (1992) カゲロウと「棲みわけ」. アニマ 241: 48-49.
- 3) 谷田一三 (1992) 白山の河川と水生昆虫. In: 白山 自然と文化. (ed. by 白山総合学術書編集委員会) . pp. 218-239. 北国新聞社.

TSUDA, Ryohei 津田良平 _____

- 1) Tsuda, R.; Nakanishi, M. (1992) Light utilization by phytoplankton in the north basin of Lake Biwa. Arch. Hydrobiol. 125: 97-107.
- 2) 田中祐志; 篠原潤; 津田良平 (1992) 浦神湾の急潮. 沿岸海洋研究ノート30: 37-44.
- 3) Tsuda, R.; Kumagai, M.; Kakui, Y. (1992) Spatial changes of phytoplankton size spectra in Lake Biwa. In: The dynamics and use of lacustrine ecosystems. (eds. by Ilmvirta, V.; Jones, R.I.) pp. 137-140. Kluwer Academic Publ.

UEDA, Hiroshi 上田宏 _____

- 1) Ueda, H.; Doi, Y.; Sakamoto, Y.; Hamasaki, K.; Fujimoto, S. (1992) Simultaneous localization of histamine and factor VIII-related antigen in the endothelium of the human umbilical vein. Anat. Rec. 232: 257-261.
- 2) Umezumi, Y.; Hachisuka, K.; Ueda, H.; Yoshizuka, M.; Ogata, H.; Fujimoto, S. (1992) Histochemical and immunological analyses of differentiating skeletal muscle fibers of the postnatal rat. Acta Anat. 143: 1-6.
- 3) Araki, H.; Ueda, H.; Fujimoto, S. (1992) Immunocytochemical localization of alpha-fetoprotein in the developing and carbon tetrachloride-treated rat liver. Acta Anat. 143: 169-177.
- 4) 上田宏 (1992) Sertoli細胞分泌蛋白 分泌特性と精子形成への関与. 電子顕微鏡 26: 217-221.

UEDA, Keisuke 上田恵介 _____

- 1) 上田恵介 (1992) 意外な鳥の意外な好み 目立たない ” 乾果 ” を誰が食べる? 生物科学 44: 81-88.
- 2) 上田恵介 (1992) 果実食者としてのカラス類 Corvus spp.: ウルシ属 Rhus spp. に対する選好性. 日本鳥学会誌 40: 67-74.
- 3) 上田恵介 (1992) ヨシゴイ Ixobrychus sinensis のヒナの餌内容. 山階鳥研報 24: 13-17.
- 4) 上田恵介 (1992) OD問題は終わったのか. 生物科学 44: 191-195.
- 5) 上田恵介 (1992) カラス類のいない島, 長崎大島. Strix 11: 231-236.

WAKATSUKI, Toshiyuki 若月利之 _____

- 1) 若月利之 (1992) 熱帯アフリカの持続的農業発展と低湿地開発. 国際農林業協力 14: 38-40.
- 2) 若月利之; 望月克哉 (1992) 西アフリカの焼畑, ブッシュ休閑農業と環境資源の保全. 国際農林業協力 14: 14-23.
- 3) 若月利之 (1992) 西アフリカの内陸小低地でのアフリカ型水田農業の展開戦略 今後20年で200万ヘクタールを目標とする研究, 開発, 普及試案. 国際農林業協力 15: 2-13.
- 4) Wakatsuki, T.; Mizota, C. (1992) Salt accumulation in topsoils of irrigated maize fields in comparison with irrigated rice fields in Kilimanjaro region, semiarid Tanzania. *Soil Sci. Plant Nutr.* 38: 365-368. [持続的農業; 灌漑; 塩害; 水田; 畑作]
- 5) Wakatsuki, T.; Rasyidin, A. (1992) Rates of weathering and soil formation. *Geoderma* 52: 251-263. [土壌生成速度, 土壌侵食, 集水域, 風化速度]
- 6) 若月利之; 小村修一; 江角比出郎 (1992) 窒素, リンを土壌の力で分解, 家庭用廃水装置. 山陰中央新聞 1992/2/5.
- 7) 若月利之 (1992) 熱帯アフリカの再生と水田農業の可能性. JICA専門家中国地区OB会会報 1: 51-54.
- 8) 若月利之 (1992) アフリカの大地の再生は可能か 内陸部小低地におけるアフリカ型水田農業の展開について. 農林水産省公報AFF 23: 48-49.
- 9) 若月利之 (1992) アフリカと日本農業再生, 水田農業で国際貢献. 日本農業新聞 1992/7/19.
- 10) 若月利之 (1992) アフリカ大陸の人口密度分布と土壌の地質学的施肥量. 日本アフリカ学会研究発表要旨 29: 14.
- 11) 若月利之 (1992) 熱帯アフリカの水田. In: 農業土木学会土壌物理研究部会, 海外水田工学特別研究委員会共催シンポジウム, 世界の水田の現状と発展方向. pp. 54-61.
- 12) Wakatsuki, T. (1992) Greening Africa. *African Science Monitor* 2 (2) : 11.

WATANABE, Naoshi 渡辺 直 _____

- 1) 渡辺直 (1992) 葛谷川 (香川県) におけるトウヨウモンカゲロウの生活環. 香川生物 19: 105-109.
- 2) Watanabe, N.C. (1992) Effect of temperature on the egg hatching of *Potamanthodes formosus* (Ephemeroptera: Potamanthidae). *Jpn. J. Limnol.* 53: 125-131.

YAMAMOTO, Shin-ichi 山本進一

- 1) Yamamoto, S. (1992) Gap characteristics and gap regeneration in primary evergreen broad-leaved forests of western Japan. Bot. Mag. Tokyo 105: 29-45.
- 2) Yamamoto, S. (1992) The gap theory in forest dynamics. Bot. Mag. Tokyo 105: 375-383.
- 3) Yamamoto, S. (1992) Preliminary studies on the species composition, stand structure and regeneration characteristics of an old-growth *Pseudotsuga japonica* forest at the Sannoko on the Kii Peninsula, southwestern Japan. Jpn. J. For. Environment 34: 50-58.
- 4) 山本進一 (1992) 御岳・亜高山帯針葉樹林における林冠ギャップ特性とギャップ更新. 103回日林論 pp. 365-366.
- 5) 西村尚之; 山本進一; 千葉喬三 (1992) 都市近郊コナラ林におけるリターフオール量. 103回日林論 pp. 391-392.
- 6) 西村尚之; 山本進一; 千葉喬三 (1992) 都市近郊コナラ林の構造と動態 (III) リターフオール量の年変動と季節変化. 日本緑化工学会誌 18(2): 13-21.

YAMAOKA, Kosaku 山岡耕作

- 1) 山岡耕作; 岡田賢治; 谷口順彦; 桑原秀俊; 石田善久 (1992) 幼稚仔保育場における人口種苗マダイのなわばり様行動. 日本水産学会誌 58 (2): 175-180.
- 2) 山田徹生; 山岡耕作; 谷口順彦 (1992) 小漁港内における人口種苗マダイ幼稚魚放流後の行動, 分布および個体数変化. 日本水産学会誌 58 (4): 611-617.
- 3) Yamaoka, K.; Hyon-Sob, H.; Taniguchi, N. (1992) Genetic dimorphism in *Pseudocaranx dentex* from Tosa Bay, Japan. Nippon Suisan Gakkaishi 58 (1): 39-49.

YOSHIDA, Naohiro 吉田尚弘

- 1) Mizoda, C.; Doman, Y.; Yoshida, N. (1992) Oxygen isotope composition of natural phosphates from volcanic ash soils in the Great Rift Valley of Africa and east Java, Indonesia. Geoderma 53: 111-123.
- 2) Yoshida, N.; Yamazaki, T. (1992) Potential of soil and sediment for the reduction of N_2O . Soil Phys. Cond. Plant Growth Japan 65: 21-28.
- 3) 中井信之; 中村俊夫; 吉田尚弘; 森育子; 吉岡茂雄; 金田秀樹 (1992) 出土哺乳動物の骨・歯・

角・を用いる。¹⁴C年代測定と安定同位体比による生存当時の環境解析. 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 31 (朝日遺跡・自然科学編) : 263-271.

4) 吉田尚弘 (1992) 哺乳動物の骨と飲料水の酸素安定同位体組成の関係. モンゴロイド 14: 26-30.

5) Yoshida, N. (1992) Absence of equilibrium nitrogen isotope fractionation in the global cycle of nitrous oxide. Proceedings of the Workshop on Methane and Nitrous Oxide, NIAES (in press).

EOF

あとがき

- G 前巻とちがって一年間分のリストなのでどうなることかと心配したのですが、なんとか第2巻ができあがりました。協力研究員のかたがたにも「よろしかったら」と呼びかけましたところ、みじかい期間にもかかわらず29の方がリストをお寄せくださいました。ご協力ありがとうございました。協力研究員については、はじめは名前のアルファベット順に配列した各業績にとおしナンバーをふるつもりで、そのようにお知らせしたのですが、構成員とわかるのはおかしいという意見があり、結局、個人ごとにまとめさせていただきました。この点ご了承ください。入力・編集作業は、安川久美さんと馬野恒世さんにてつだっていただきました。あつくお礼もうしあげます。
- G 昨年の第1巻には、いろいろな方々の感想や意見をいただきました。「業績目録」と称して、定義も区分もくわえずに発表物のリストを刊行するのは前例のないことなので当然かもしれません。「すべての印刷物に責任がある」という立場の急先鋒のKセンター長が、第1巻の「はじめに」もリストにくわえれば（なんだか無限ループにはまってしまうみたいな感じですが）、いっぽう、新聞記事までふくむようなリストを刊行する「センターの見識を疑う」と協力研究員のI教授が書かれた記事もこのリストにあがっています。「こうしたリストに連なるのは不本意であるが」、とおっしゃりながらご協力いただいたI教授の姿勢には感銘を受けました。
- G 昨年も記しましたように、開かれた共同利用体制を保持していこうとするわたしたち生態学研究センターの姿勢表明として、現在の編集方針をつづけてまいります。しかし、原著論文を軽視することには決してならないと考えます。このような「雑報」込みのリストから、原著論文をピックアップすることは容易だからです。ちなみに、私算では今回のリストの総数293報中の原著論文・総説は4割弱の116報。ともあれ、ひき続きご愛読(?)、ご批判いただければさいわいです。

編集担当: 甲山隆司

(追記: この「あとがき」は来年の第3巻の業績にはしません)